

ナガノパープル

登録番号：第12074号

登録年月日：平成16年6月4日

登録者：長野県(長野県長野市南長野幅
下692-2)

育成者：山下裕之 峯村万貴 羽生田
忠敬 茂原 泉 塚原一幸
臼田 彰 小松宏光 宮澤孝

幸 田尻勝博 飯島貞次 馬
場孝幸

来 歴：「巨峰」と「ロザリオ ピアン
コ」の交雑実生

育成地：長野県須坂市(長野県果樹試験
場)

特 性

■栽培特性

樹勢は強く、新梢は太い。花穂の数は、1新梢当り3.5程度である。花穂は長く、蕾は大きい。無核化および果粒肥大促進のため、花穂を整形した後、満開時および満開後10～15日にジベレリン25ppmで花穂(果房)を浸漬処理する。短梢せん定でも花穂の着生に問題がないため、短梢栽培が可能である。

発芽期は「巨峰」と同時期かやや早く、開花期は「巨峰」と同時期かやや遅い。果実の成熟期は育成地の須坂市において9月上旬で「巨峰」とほぼ同時期である。満開後成熟に要する日数は85日前後である。

■果実特性

果房形は円筒形、果房の大きさは400～500g程度である。果粒形は倒卵形、果粒の大きさは10～14g程度である。果皮色は紫黒色で果粉は多い。皮ばなれはしづらく、肉質は「ロザリオ ピアンコ」に似て歯切れが良く、種なしである。香気はフォクシーで「巨峰」や「ピオーネ」と同様である。果実の糖度は屈折計式度で18～21%程度で甘味が多く、酸含量は0.4～0.5%程度である。果皮が柔らかいため皮ごと食べることができ、食味は優れる。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

主要病害に対しては通常の防除で問題は認められていない。また、特に問題となる虫害も認められていない。

栽培上の留意点としては、収穫前の降雨により裂果が発生する場合があるため、雨よけなどの施設栽培を前提として導入する必要がある。また、自根樹では年によって裂果が多く発生するが、5BB台木付きの苗木では発生が少ない傾向であるため、当面、5BB台木付きの苗木を用いる。灌水は、土壌水分を大きく変動させないように、少量ずつ多数回行う。500gを越える大房では、果房内で果粒により成熟がばらつく場合があるので、果房重450～500g程度を目安とする。若木では、果粒軟化期(育成地で7月中旬)から基部葉にマグネシウム欠乏による葉焼け症状が発生する場合がある。葉焼け症状が見られた場合は、マグネシウムを含む葉面散布剤を散布する。

■地域適応性

現在のところ、苗木の生産・販売および栽培は長野県内に限られている。長野県下のブドウ栽培地帯全域で栽培が可能と考えられ、種なしで皮ごと食べられるタイプの品種として普及が見込まれる。

(峯村万貴)